

◆ あとがき ◆

何事も微量と聞くと、「ああその程度か、じゃあ少しだな、後でもいいや」などと考えがちである。しかし、今回取り上げた微量元素の「微量」はその程度のものではない。生命にとって不可欠である。生体内には多量元素・微量元素・微量元素があり、はたまた超微量元素まである。生物の発育や細胞機能の維持に重要であり、その欠乏は臓器障害を引き起こす。腎と透析という領域においてこの微量元素、特に必須微量元素である鉄・銅・亜鉛について取り上げてみた。特に、腎性貧血についての鉄の役割は言うまでもないが、併せて銅・亜鉛が関わってくる。CKDの進行予防と微量元素の役割は大変重要な研究課題である。さらに、腎障害では心不全が大変重要な合併症であることは周知の事実であるが、最近の研究では鉄欠乏と心不全の関連、さらには鉄の静注が心不全を改善するという結果まで出ている。亜鉛についても血管石灰化との関連を含めて多くの研究結果が出ている。さらに、高血圧・糖尿病・フレイルなどにも大きな影響があることがわかっている。今回の企画では、薬学・生化学についての基礎的検討から生体内での測定系まで盛り込まれ、優れた総説となっている。欠乏だけではなく過剰症についても述べていただいた。

「秋深まり」というより、真夏の暑さから急な冬の訪れを感じる今日この頃である。こういう時期には、ブラームスの音楽を聴きたくなる。彼の生まれ故郷、北ドイツの風景と最後を過ごしたウイーンのそれは今回企画した筆者にとっても格別の想いがある。同時に彼の曲は華美な飾り付けが無くとも、いや、むしろ僅かであることが一層彼の音楽を惹きつける魅力となっている。筆者もこの特集でもう一度微量を学ぼう。「山椒は小粒でもピリリと辛い」であり「過ぎたるは及ばざるごとし」である。

小林 修三

本誌広告取扱い

文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1
本郷宮田ビル5階 ☎03-3814-8541
メディカ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-12-9
アド 第1長谷川ビル2階 ☎03-5776-1853 (代)

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)東京医学社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、一般社団法人出版者著作権管理機構(電話03-5244-5088, FAX03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

『腎と透析』次号予告——第97巻第6号(12月号)

特集 CKD患者に望まれる造血・鉄代謝異常の管理

総論

腎臓と微量元素の関わり……………倉賀野隆裕

各論

リアルワールドで見たCKD患者の貧血管理の

現状……………祖父江理

JSDTガイドライン2015の課題……………濱野高行

CKD患者のターゲットHbの考え方

1) 保存期……………今田悠介・他

2) 血液透析……………孤杉公啓・他

3) 腹膜透析……………今泉貴広

CKD患者の鉄管理の考え方

—鉄代謝マーカーと造血・予後……………西脇宏樹

ESA療法とHIF-PH阻害薬治療

1) ESA firstの立場から……………林 晃正

2) HIF-PH阻害薬の登場で変わったこと…菅原真衣

3) 保存期と透析期のシームレス貧血治療…安藤重輝

4) HIF-PH阻害薬と多発性嚢胞腎……………諏訪部達也

腎移植患者の貧血管理……………辻田 誠

小児CKD患者の貧血管理……………芦田 明

トピックス

日本人心不全患者の鉄欠乏と予後……………中尾元基・他

SGLT2阻害薬と造血・鉄代謝……………越野瑛久・他

細胞内鉄とferroptosis……………三島英換

名誉主幹／酒井 紀	秋澤忠男	飯野靖彦	
編集顧問／五十嵐隆	遠藤 仁	小椋陽介	川村哲也
木村健二郎	小磯謙吉	小山哲夫	酒井聡一
坂井建雄	佐中 孜	塩之入洋	高市憲明
堀江重郎	細谷龍男	矢崎恒忠	山口 裕
山田 明	竜崎崇和		
編集主幹／有村義宏	小林修三	新田孝作	
編集委員／青柳一正	安西尚彦	安藤亮一	伊藤秀一
河原克雅	菅野義彦	清水 章	高橋公太
高橋 悟	坪井伸夫	長田道夫	服部元史
平和伸仁	星野純一	本田浩一	横尾 隆

KIDNEY AND DIALYSIS
腎と透析

第97巻第5号

©2024年11月25日発行

定価 3,190円

(本体2,900円+税10%)

編集 腎と透析編集委員会

発行所

株式会社 東京医学社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-40-5

URL <https://www.tokyo-igakusha.co.jp>

編集部 03-3237-9113 FAX 03-3237-9115

Eメール: jin@tokyo-igakusha.co.jp

販売部 03-3265-3551 FAX 03-3265-2750

Eメール: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp

2025年前金予約購読料1カ年50,600円(増刊号含む、税込)